

郷里の人々の不信仰

— マタイによる福音書一三章 53 ~ 58 節

人々の不信仰のゆえに、そこではあまり奇跡をなさらなかつた。(58)

主イエスは郷里のナザレに行かれると、会堂に入り人々に教えられました。人々はその教えに驚きながらも、主イエスを信じたものではありませんでした。「この人は大工の息子ではないか」(55)と軽蔑して主イエスにつまづき、不信仰を表明したのです。その彼らの不信仰のゆえに、主イエスはナザレでは力あるわざを控えられました。主イエスはいつも、ご自分を求める心のないところでは無理に信仰を押しつけたり、人々の目を引きつけるような奇跡を行ったりはなさいません。人々の不信仰が、主の力あるみわざを妨げたのです。神の働きはいつも、信仰があるところに現されます。私たちはナザレの人々のように神のみわざにただ感心して終わるのではなく、イエスを神の子救い主と信じる信仰へと至る者たちでありたいと願います。